

芸森の名品Ⅱ 学芸員がつなぐ名品のともしび



片岡球子《静物》1955年頃



舟越桂《雪の上の影》(部分) 2002年 前澤良彰撮影



砂澤ビッキ《神の舌》
1980年 佐藤雅英撮影



国松登《氷人》1971年



オーギュスト・ロダン
《フロックコートを着た
バルザック》1891-92年



東郷青児《(女性像)》1960年頃



マルタ・バン《浮かぶ彫刻・札幌》1986年

共に、名品と語ろう。

美術館は、アーティストがともした作品の輝きを、未来へつないでいます。それは、皆さんの大切な財産だからです。「芸森の名品」の第二回目となる本展では、札幌芸術の森美術館学芸員イチオシの収蔵品と、2010年の第一回以降新たに加わった新収蔵品を多数展示。いつもは野外にある彫刻作品も展示室にやってきます。そして、作品を守るために、学芸員が何をしているのかもご紹介。それによって、美術作品を楽しみ、大切にすることを、皆さんと共有していきます。

2018年3月10日(土) ▶ 3月25日(日) 9:45~17:00 (最終入場は閉館30分前)

休館日/3月12日(月)、19日(月)

会場/札幌芸術の森美術館 主催/札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団) 後援/北海道、札幌市、札幌市教育委員会
観覧料/一般500(400)円、高校・大学生250(200)円、小・中学生100(80)円 *0内は20名以上の団体料金

☆イベント情報☆

○まちなかコンサート～南区～ いくつもの夜を越えてみる景色

小野健悟氏(サクセス)、忍弥氏(津軽三味線)、小杉龍画氏(タップダンス)を招き、展示室内で、展示作品をイメージした楽曲の演奏を行います。

3月24日(土) ①11:00~11:50、②13:30~14:20 *各回美術館展示室集合、無料(ただし要観覧券)、予約不要

○ギャラリーツアー 学芸員が語る 名品の魅力

第一回 3月11日(日) 14:00~ 「森の情景—絵画がつむぐ北海道」佐藤弥生

第二回 3月18日(日) 14:00~ 「彫刻をたどる—一時の流れ、人の繋がり」坂本真惟

第三回 3月21日(水・祝) 14:00~ 「人物と絵画—<ひと>のむこうに見えるもの」平井菊花

第四回 3月24日(土) 15:00~ 「野外彫刻がやってきた! / 記憶としての建築 伊藤正と伊藤仁」梅村尚幸

*各回美術館展示室集合、30分程度、無料(ただし要観覧券)、予約不要

○美術作品収蔵庫ツアー

第一回 3月10日(土) 14:00~、第二回 3月25日(日) 14:00~

*各回美術館ロビー集合、30分程度、無料、予約不要(ただし希望者多数の場合順番待ちとなる可能性があります)